

# ご あ ん な い

◆ イエスさまのみ言葉と愛を日常生活の中で生かし、お友だちやご家族を大切に、神様の名によって受け入れあえることのできる心の育成を、日曜学校では目指しています。「イエスさまのみ恵みに満ち溢れるように」と願っています。

◆ 新型コロナウイルスの感染予防のため教会でのお食事はできません。お飲み物は水筒やペットボトルを持って来てください。

◆ 日曜学校の児童生徒の教会滞在可能な時間は、朝9時から午前11時までなので、その時間まで2階ホールで過ごすことができます。新型コロナウイルスの感染の状況やその時の参加人数によって活動内容が変わることもあります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

◆ 春には大斎節とイースター、7月にファミリーキャンプ、8月にサマーランチパーティ、9月にお泊り会、10月にバザー、11月からはクリスマスページェント（聖劇）の練習、12月にはクリスマスというように、教会の暦に合わせた行事、日曜学校のプログラムを予定してきましたが新型コロナウイルスの影響を受けて2020年以降行事の休止が続いています。  
新型コロナウイルスの感染予防をしながらみんなで楽しく有意義な時を過ごしてゆくことができるようにスタッフ一同頑張っています。



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう  
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ：03-3710-6031

## イエスさまのご復活は弟子たちを変えた！！

しさい ジ ソン ヒ  
司祭 ナタナエル 池 星 熙

ペトロはイエスさまが十字架にかけられる時、ゲッセマネから逃げました。実はそこにいたすべての弟子たちがみんな逃げていったのです。イエスさまは大祭司の所に連れて行かれました。ペトロはその後を遠くから付いて行きました。ペトロは大祭司の家に入らず、中庭の真ん中で火がたかかっているところにいました。そこにいた人が「あれ！この人、イエスさまの弟子じゃない？」とペトロに言いました。「違うよ！」ペトロは3度もイエスさまを知らないと言いました。するとその時、鶏が鳴きました。ペトロは「鶏が鳴く前にお前は3度私を知らないと言うだろう」というイエスさまの言葉を思い出しました。そしてあまりにも悲しくて泣いてしまいました。イエスさまがつかまえられていく姿を見るのも辛くて苦しいけれど、「私はイエスさまの弟子なのにどうしてこんなことをしてしまったのだろう？」と、がまんできないくらい大きな苦しみの中にいたのです。

3日が過ぎた後、イエスさまが復活されました。復活されたイエスさまは弟子たちが集まっている場所に現れました。ペトロは以前だったら、「先生が復活されてとても嬉しいです！」と、とても感激するでしょう。イエスさまのことが大好きで 生き返られたことがとても嬉しいのに、イ

エスさまを知らないと言った自分のことを考えると、とても辛くなりました。ペトロは、他の時なら、一番先に走って行ってイエスさまの手を握って喜び、嬉しさのあまりどうしたら良いかわからないくらいでしょうけれど、この時は黙って立っているだけでした。そして思いました。「私のようなものがどうしてイエスさまの弟子だなんて言えるだろう！？ いったい私のどこが神様の使徒だと言えるのか！！ また漁師に戻ろう。魚をとりに行こう」と。ペトロはティベリアス湖に帰って行きました。弟子たちも一緒に行きました。彼らは網を投げましたが、何度繰り返してもその夜は何もとれませんでした。そうして夜が明けたころ、ある人が現れて「魚はたくさんとれたか。」と言われました。「一匹もとれません」と弟子たちは答えます。その人が、「網を船の右側に投げなさい」と言われたので、彼らが言われたとおりに網を船の右側に投げると魚がたくさんとれたのです。この瞬間「主だ！」誰かがペトロに言いました。ペトロは服で体を覆って水に飛び込みました。裸だったのでとても恥ずかしかったのでしょうか。そうやって陸に来ると、イエスさまが待っておられたのです。炭火がおこしてあって、その上に魚が載せてあり、パンもありました。朝食を食べてからイエスさまはペトロに「ヨハネの子シモン、私を愛しているのか？」と言われました。ペトロは、いくら考えてみてもイエスさまを愛していることを否定できません。もしかしたらイエスさまに「あなたは私を愛していると言いながら私を否定したのか」と聞かれたのかと思いつつも、「はい、主よ、私があなを愛していることは、あなたがご存知です」と答えました。イエスは、「私の小羊を飼いなさい。」と言われたので、ペトロは衝撃を受けました。「イエスさまを裏切った私みたいな人間を、イエスさまはそのまま受け入れてくださる」と。ペトロは落ち着きませんでした。2回も聞かれ、さらにまた3回目「私を愛しているのか？」と聞かれると、

自分がしたすべての過ちが思い出されました。そしてすごく悲しかったですが、心の中でもう一度誓いました。「主よ、あなたは何もかもご存じです。私があなを愛していることを、あなたはよく知っておられます」と言ったのです。するとイエスさまは「私の羊を飼いなさい」と言われました。

この出来事を通じて、ペトロは真のイエスさまの弟子、命まで捧げることができる弟子になりました。そして世界に福音を伝え、殉教者になるまでイエスさまのためだけの人生を送りました。

## これからのよてい

◆ 4月10日(日)復活前主日・棕櫚の日曜日  
⇒イエスさまのエルサレム入城を思い起こして、しゅろの葉で作った十字架を持って礼拝します。

◆ 4月17日(日)イースター(復活日)  
⇒日曜学校の子も礼拝は9時30分からです。礼拝が終わってからみんなでお庭でエッグハンティング=イースターエッグ探しをする予定です。参加費はいりません。愛餐会はありません。

※前日の準備やラッピングはスタッフのみで行います。

◆ 6月5日(日)聖霊降臨日(教会創立記念日)  
⇒聖パウロ教会の146周年の感謝記念礼拝です。

※詳しくは日曜学校スタッフへお問い合わせください。

## せい 聖パウロニュース

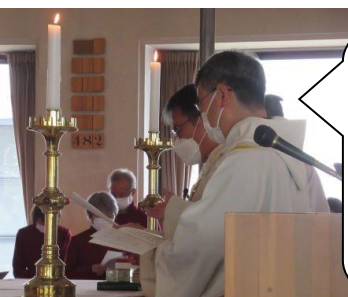
■ 昨年12月19日に大人の礼拝の中でミュージックベルで「まきびとひつじを」奉演いたしました。



おかしプレゼントをいただきました♪

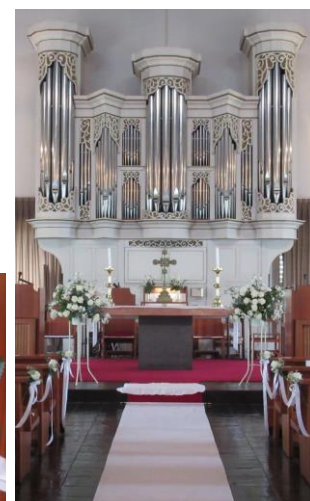


■ 3月27日に聖婚式が行われました。お二人の上に神様の祝福とお恵みが豊かにありますように。



主よ、この指輪を祝福し、二人の生涯変わらない愛の約束のしるしとしてください。主イエスキリストのみ名によってお願いいたします。アーメン

会場のお花は、ペンテコステの時にフラワーアレンジメントを教えてくださいくださった乙部恵利さんが飾ってくださいました。



## とうきょうきょうく 東京教区ニュース

● 7月30日(土) エスエスネットワーク主催の小学生を対象にした「日帰りデイキャンプ」を計画中です。詳細が決まりましたらご連絡いたします。

● 東京教区中高生会では毎月集まって交流の時間を持っています。中高生キャンプを8月18日(木)～21日(日)まで長野県シャローム・ロッジで計画中です。

● 東京教区青少年活動支援のごあんない 東京教区青年会(高校卒業の年～35歳の人)ではオンラインでの活動を中心にコロナ禍でも計画開催されています。

毎月第4土曜日定例プログラム『マルコとごはん』  
毎月第2水曜日定例プログラム『食事会』  
毎月第1金曜日定例プログラム『テゼの歌といのりのつど集い』

詳しくは日本聖公会東京教区青年会をインターネットで検索してフェイスブックをご覧ください。お申込みもフェイスブックからDMやコメントで受付しています。

東京教区では小学生、中高生、青年の集いが行われています。同じ世代の集まりに参加してたくさんお友達をつくりましょう!  
詳しくは日曜学校スタッフまでお問合せください。